

鹿児島市の 学校支援ボランティア事業



理科学習支援の様子

鹿児島市教育委員会 生涯学習課

1 今年度の取組内容

(1) 地域本部の設置（小学校区に設置）

地域本部 27本部 54校

- ・ 地域の配置バランスを考慮して設置

地域コーディネーター 27人（1人で2校を担当）

- ・ 本市に赴任経験のある退職された学校長
- ・ 地域の事情に詳しい地域住民 等

実施校 54校（新規実施校：12校）

- ・ 20年度 15本部 15校
- ・ 21年度 15本部 30校
- ・ 22年度 27本部 42校



(2) 地域教育協議会

実施小学校区の校区公民館運営審議会に依頼

- ・ 校区公民館
本市のすべての小学校区に設置され、校区住民の生涯学習やまちづくり、青少年健全育成を推進する施設
- ・ 校区公民館運営審議会
町内会や社会教育関係団体等のメンバーからなり、校区の生涯学習にかかる課題等を審議したり、事業を行う組織

年2回開催

- ・ 地域本部での支援の方針などについて企画、立案
- ・ ボランティア募集への協力
- ・ 支援活動の成果と課題の協議 等



(3) 地域コーディネーター研修会等の実施

年5回実施

- ・ 事業内容の共通理解や情報交換
- ・ 地域本部の実情についての意見交換と改善策の協議
- ・ ボランティアガイドブックの見直し
- ・ 事業報告書の作成 等

その他の地域コーディネーター研修会等への参加

- ・ 実践事例発表等の実施
- ・ コーディネーターとしての資質向上 等

(4) 今年度の取組内容の課題

学校と地域をつなぐためのボランティアの確保と新たな人材の発掘

学校からの支援要望を生かした支援活動の可能性について、地域コーディネーターをとおした積極的な啓発の推進

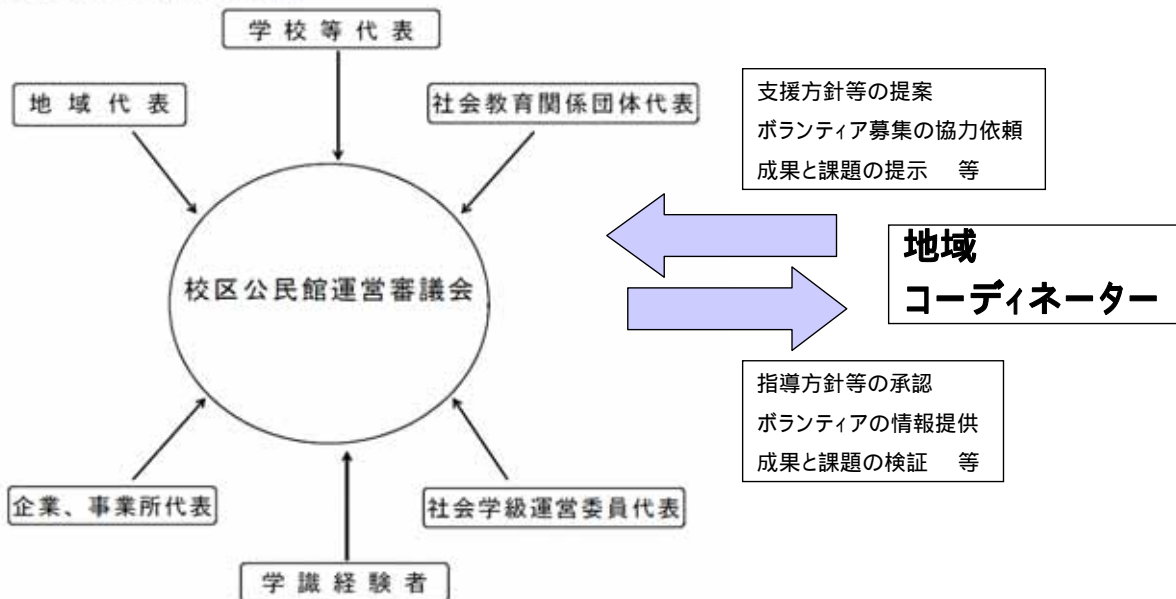
ボランティア登録をしても実際に活動できなかった方への対応を図るとともに継続した広報活動の実施

2 今までの取組による効果

(1) 校区公民館運営審議会（地域教育協議会）との連携

校区公民館の組織

校区公民館運営審議会委員の構成



(2) 地域住民、各団体への広報

折り込みチラシの作成

学校の要望を聴取



折り込みチラシの作成

< チラシへの記載内容 >

- ・ 学校の要望
- ・ 説明会の実施日
- ・ 連絡先：携帯電話番号等



新聞折り込みとして、各家庭や地域住民、各関係団代へ

(チラシの実際)

皇徳寺小学校の子どもたちのサポーターになりませんか !!

未来を担う子どもたちを地域で育てる学校支援ボランティア



鹿児島市教育委員会では、今年度、市内54の小中学校で、学校支援ボランティア事業を推進しています。

◆学校支援ボランティアとは

- 特別な資格は必要ありません。
- 子どもたちを温かく見守ってくださる気持ちが一番です。
- 今までの経験や趣味を生かすこともできます。



「皇徳寺小学校」では、下記のようなボランティアの方の募集を予定しています。ボランティアとして御協力いただける方は下記連絡先までご連絡ください。

子どもたちとの新しい出会いが待っています...

- 家庭科での調理、マシン操作などのお手伝いをしていただける方
- 体育での持久走大会の安全指導補助をしていただける方
- 授業やリコーダー等の指導補助をしていただける方
- 図書工作等の指導補助をしていただける方
- 学校行事（運動会）のボランティアとしていただける方
- その他（水泳や陸上競技等）、これまでの経験や趣味を生かしてお手伝いしていただける方

学校支援ボランティアを希望される方は、下記、地域コーディネーターまで御連絡ください。なお、詳しい説明会は下記日程で開催します。また、実際に学校支援ボランティアとして活動していただくのは、9月以降を予定しています。

<説明会日時・会場> 8月23日(火) 13:00-14:00 皇徳寺校区市民館2階
※ 以降希望の方は、個別に御開催します。

皇徳寺本部 (皇徳寺小学校内)
地域コーディネーター 黒崎 憲一 (090-2588-3445)
TEL 080-6459-8549

(3) ボランティアガイドブックの作成



もくじ

- I 学校支援ボランティアってなに? 1
- II 学校支援ボランティアの活動例 3
 - ・ 学校支援ボランティア体験談 4
 - ・ 学校支援ボランティア活動を始める前に 4
- III 学校支援ボランティアをはじめよう! 5
 - ・ 学校支援ボランティアの力へ 6
- IV 学校と子どもについて知っておこう 7
 - ・ 学校は、こんなところぞ 8
 - ・ 学校でよく使われる言葉や用語 9
 - ・ 子どもを知ろう 子どもたちの特徴 10
- V 学校支援ボランティア質問あれこれ 11
- VI 各学校支援地域本部連絡先 13

ボランティア説明会で使用(学校での決まり等を記載)

(4) ボランティアバッジの作成



子どもたちの安心・安全の確保のため
～ 学校内のみで使用 ～

(5) これまでの実績と成果

ボランティア登録者数と活動数、延べ活動者数（平成22年度末現在）

	登録者数	活動数	延べ活動者数
20年度	1,184人	2,281回	9,918人
21年度	2,558人	6,346回	21,487人
22年度	4,063人	9,513回	31,881人

成果

教職員と子どもの向き合う時間が増加した。

地域住民と子どもの交流が深まり、高齢者の生きがいづくりが図られた。

地域住民が学校内外で支援活動を行うことで、子どもの安心・安全の確保につながった。

地域の教育力の活性化につながった。

3 今後の取組予定

(1) 市内78校すべての小学校で実施

《地域本部数》	39本部
《コーディネーター数》	39人
《実施校》	78校

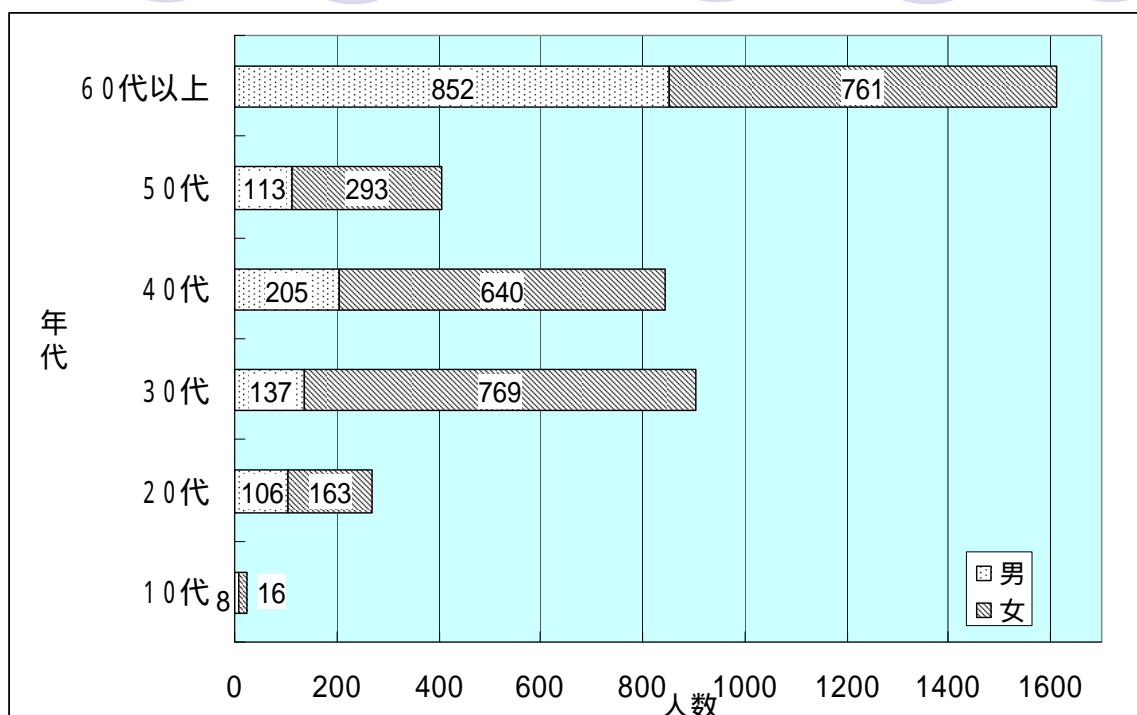
(2) 中学校での実施に向けて研究

アンケート調査の実施
実施方法について検討 等

(3) 事業実施後3年を経たの事業の検証と問題点の整理

資料1

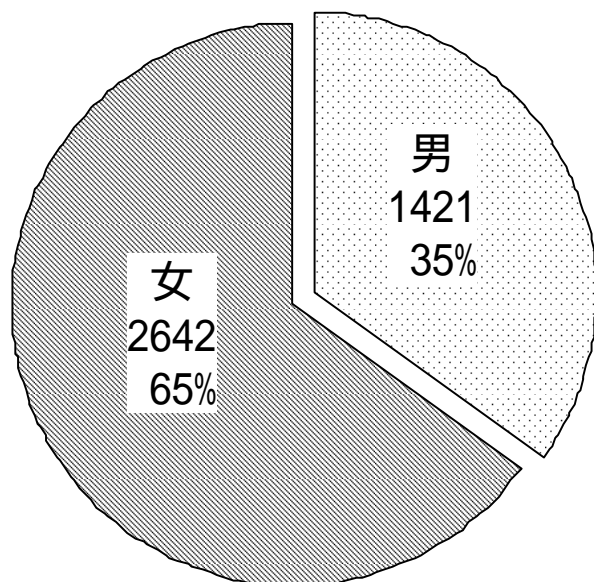
ボランティアの年代別登録者数(平成22年度末現在)



資料 2

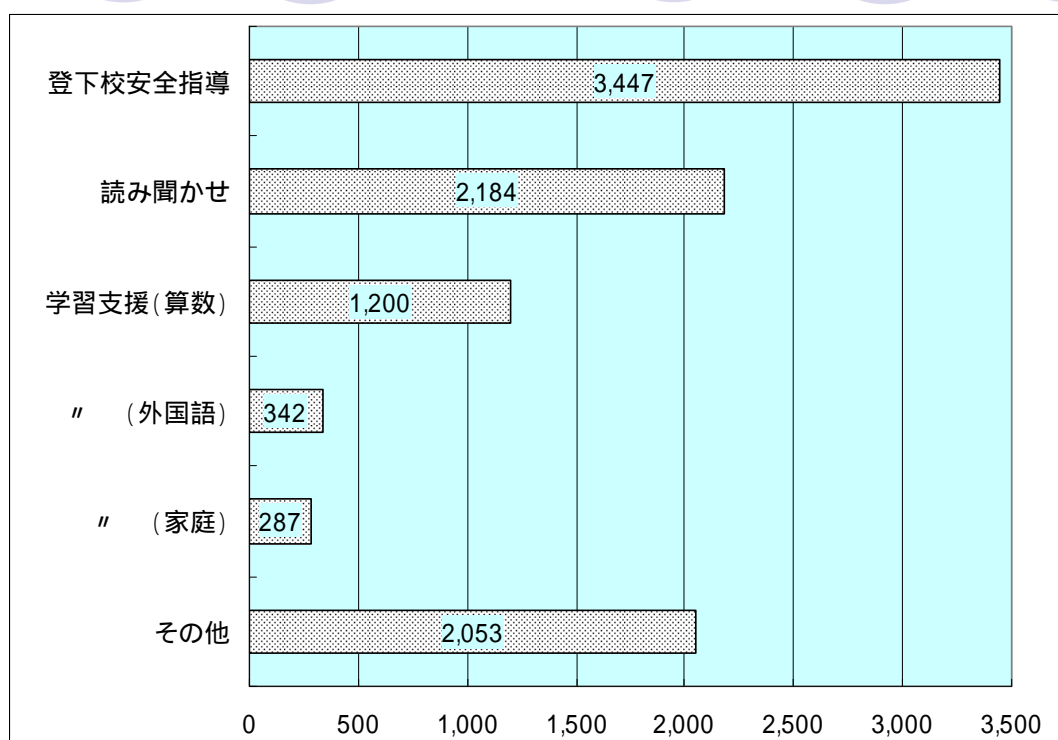
ボランティアの男女別登録者数(平成22年度末現在)

ボランティア登録者数 4,063人



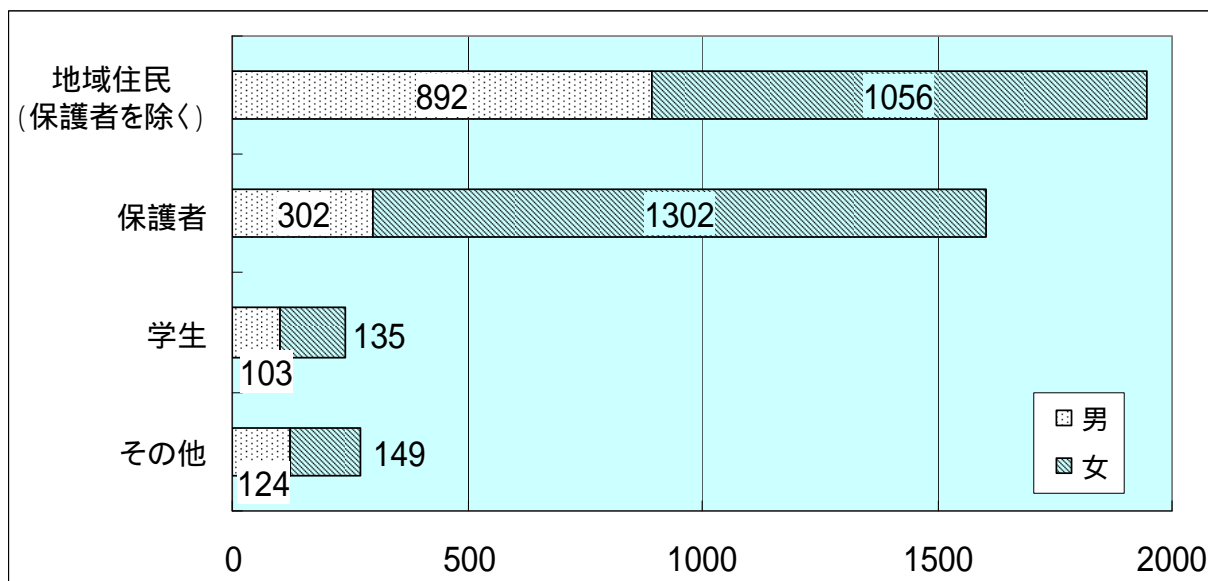
資料 3

主なボランティア活動数(平成22年度末現在)



資料 4

立場別登録状況(平成22年度末現在)



平成23年度地域とともにある 学校づくり推進事業

鹿児島市立郡山小学校
校長 廣森 幹夫

1 今年度の取組

- ・支援して貰う内容が不明瞭
- ・ボランティアにまかせっきり



- ・担任としてすべきこと
- ・お願いすること



2 今までの取組による 成果

未来を担う子どもたちを
地域で育てよう

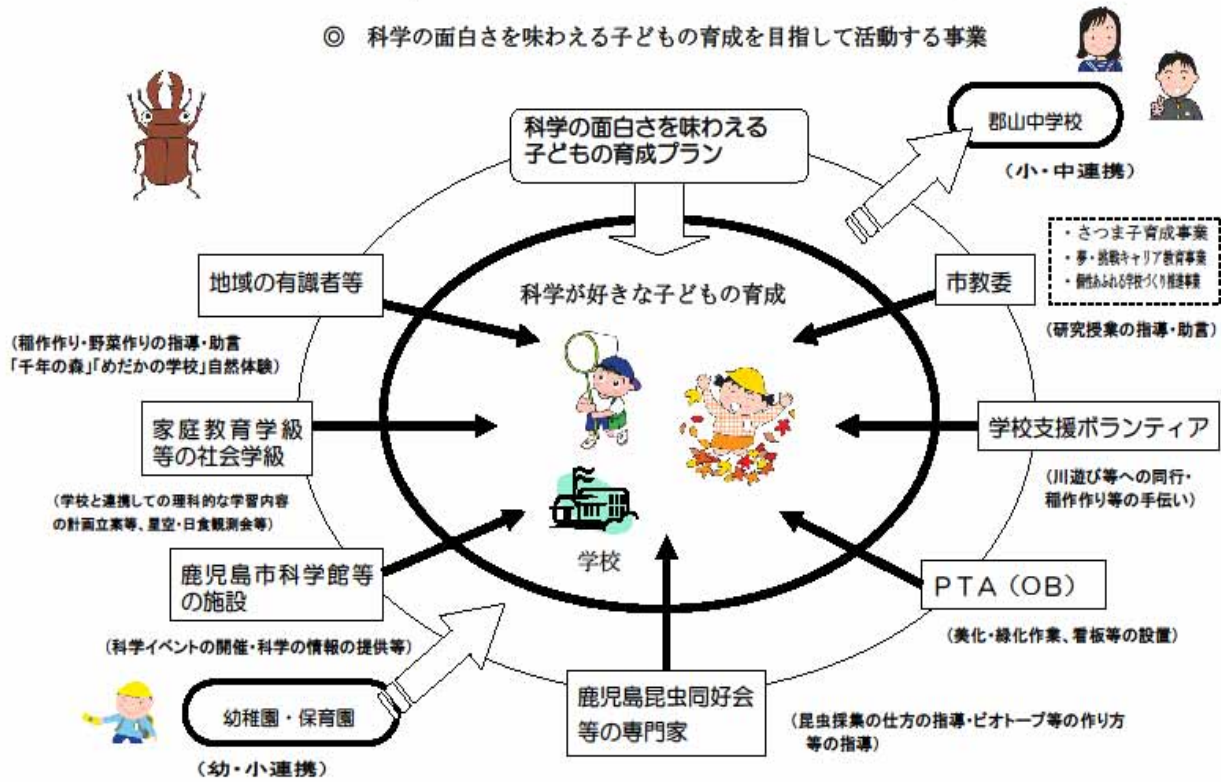
- ・ 資格はいりません
- ・ 子どもを温かく
見守っていただく気持ちが一番
- ・ 今までの趣味や経験を活かします

ボランティア活動の 充実を願って

- ・ 学校長と確認
- ・ 日時, 場所, 方法等の打合せ
- ・ ボランティアとの打合せ

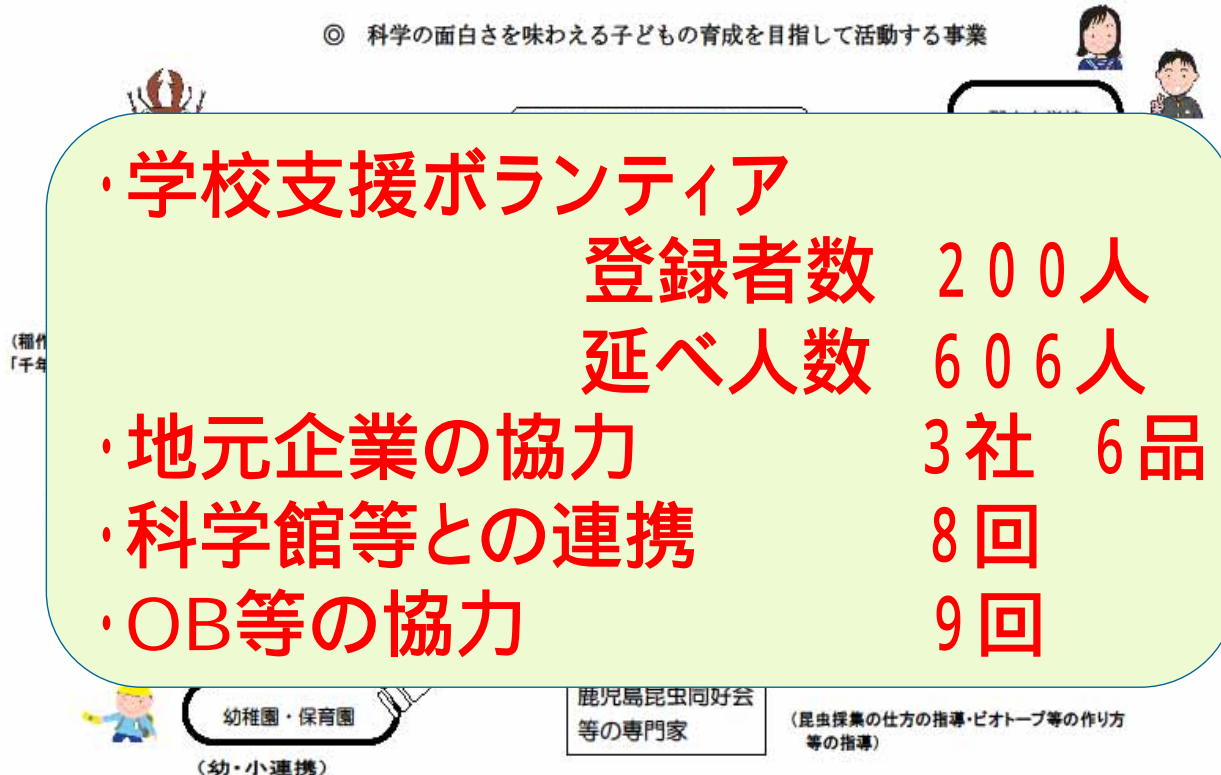
郡山小サイエンス事業

◎ 科学の面白さを味わえる子どもの育成を目指して活動する事業



郡山小サイエンス事業

◎ 科学の面白さを味わえる子どもの育成を目指して活動する事業



・ 教室内外の活動で、子どもたちの 思いを大事にした活動を展開



・ 地域の企業の援助を受け、 教材作成



・ 既存の組織との連携





3 今後の予定

郷土教育人材活用単元一覧表

学年	教科等	月	単元名	人材や場所
1	生活	10	木と友だちになろう	学校支援ボランティア
	生活	11	やきいもパーティー	学校支援ボランティア
2	生活	6・12	どきどきわくわく町たんけん	学校支援ボランティア
	体育	6・7	水あそび	学校支援ボランティア
3	総合	5	甲突川で遊ぼう	甲突川 学校支援ボランティア
	理科	6	こん虫を調べよう	稲荷神社周辺 学校支援ボランティア
5	総合	5～11	郡山の農業	学校支援ボランティア
	家庭	10・11	わくわくミシン	学校支援ボランティア
6	家庭	10	生活を楽しくする物を作ろう	学校支援ボランティア
	音楽	2	日本の音楽を味わおう	学校支援ボランティア
行事・その他	安全・安心	4	新1年生下校見守り	学校支援ボランティア
	体育指導	9	郡山小唄(運動会練習)	学校支援ボランティア
	体育	10	陸上大会に向けて	学校支援ボランティア
	国語	2	お話会	学校支援ボランティア